

鴻巣市議会 会派 自民党

このす自民ニュース

3号



このす自民



明日の鴻巣に責任を果たすために！

片山さつき大臣訪問

中根一幸内閣府副大臣の取り計らいにより、片山さつき内閣府特命担当大臣に面会する機会をいただきました。大臣の所管は地方創生、まち・ひと・しごと創生、男女共同参画、女性活躍であり、それらは私たち会派の理念である「鴻巣市にメリットをもたらす」ために非常に重要な政策でもあります。鴻巣市のまちづくり、人口対策、産業誘導などに大いに期待されます。今後も積極的に要望等を上げていきます。



「開かれた議会」への展望 議会ICT化研修

議会ごとに配布される議案書や予算書・決算書など数百枚に及ぶ紙の資料が、パソコンやタブレットにデータとして取り込み、市民もネットで簡単に検索閲覧できる「議会のICT化、ペーパーレス化」が議論されています。152の自治体で導入されており、ICT化を推進していきたいと考えています。



桜田義孝大臣訪問

平成30年12月25日、桜田義孝オリンピック担当大臣を表敬訪問いたしました。大臣は、自分も農業を営んでいると話していました。大変親しみやすい大臣と感じました。東京オリンピックの会場や、その周辺を是非鴻巣の花で飾っていただきたい旨お願いし、鴻巣花組合で作成したパンフレットを直接渡してきました。今後を期待したいと思います。



荒川水系河川整備計画の勉強会

昨年は豪雨災害等、多くの自然災害が発生しました。鴻巣市は元荒川や荒川等の大きな河川を抱える自然豊かなまちです。荒川上流河川事務所職員による勉強会を行いました。防災・減災に向けた取組みを積極的に行い、市民の安心安全な暮らしを守りたいと考えております。



さかもと くにひろ
坂本 国広

吹上北側地域に 待望の生涯学習施設！

北新宿土地区画整理事業地内のウニクス鴻巣南側に児童館・公民館が建設されます。子供たちが遊びを通して元気で情熱豊かに成長する場、地域住民の生涯学習や交流を図る施設として、平成32年4月に開館を予定しています。



さかもと あきら
坂本 晃

農業競争力強化基盤整備事業！ 農地整備事業（経営体育成型）

川里地区において、鴻巣・行田土地改良事業の工事が始まりました。多くの関係地権者から要望があり、平成23年度に地元説明会からスタートした事業です。受益面積75ha、地権者数241名となっています。工事費用約9億6300万円であり、国庫補助50%、県補助27.5%、鴻巣市・行田市補助20%、地権者の負担が2.5%となっています。農家にとって有益な事業となっています。平成33年度を事業の完了目標としています。食料の自給率を高めることなどが求められている現在、鴻巣市の農業を守ることや環境を整備する上で非常に大切な事業となっています。着実な進展を図ります。



のもと けいじ
野本 恵司

鴻巣市の産業振興のために！

さいたまスーパーアリーナにて「彩の国ビジネスアリーナ2019」「埼玉県農商工連携フェア」が相次いで開催されました。前者は工業が主体となっており、後者は農業を柱としたもので、どちらも県内を中心とした事業者がたくさん出展しており、どちらも非常に勢いを感じるイベントでした。

事業者をサポートする政策もたくさん紹介されており、これからは情報力とチャレンジする意欲が勝負になると強く感じました。人口減少時代では、高度な経営技術が必要になります。市内事業者が政策とのマッチングやコーディネートで確かな成果を生み出すよう今後も市に働きかけてまいります。



とんしょ すみえ
頓所 澄江

新学習要綱を見据えた 学校教育の充実！

若者世帯が引越し先を探す際、子育て環境が充実したまち、教育環境が整っているまちを指標の一つに掲げています。グローバル化や情報化が進む中、本市は外国語指導助手を16名配置し、小・中学校ともに外国語教育の充実を図っています。

英語教育と並んで各自治体が力を入れているのが「ICT教育」です。新学習要綱では、プログラミング教育も導入されます。学校で学んできたことが、明日、そして将来につながるように、まずは、「ICT教育」の環境整備を進めてまいります。



内閣府副大臣 衆議院議員（自由民主党） 2019年3月号 中根かずゆきNEWS



ただいま防災・国土強靱化及び地方創生、サイバーセキュリティ等を担当しております、内閣府副大臣の中根一幸です。

昨年も、200名を超える犠牲者を出しました平成30年7月豪雨災害をはじめ、我が国には多くの自然災害が発生いたしました。1月15日、16日の両日、私も豪雨被災地の岡山県及び広島県を視察し、被害の実態をこの目で確かめて参りました。

土砂で押し流された家々や大きくえぐれた堤防などを視察し、普段は穏やかな河川が、豪雨など昨今の気象の急激な変化の下、人々の平和な日常生活に対し突然牙を剥く様は、大変恐ろしいものだ改めて実感いたしました。こうした災害から得られた教訓をしっかりと活かして、国民の命を守る強靱な国づくりを強力に進める必要があると痛感しているところです。それが犠牲となった人々に対する政府の責任であり、今を生きる我々にとっての最重要の課題であると考えています。

岡山県及び広島県豪雨被災地視察



被災地を視察する中根内閣府副大臣。
急な災害に対して防災・減災の重要性を新たにしました。

昨年、内閣府において、平成30年7月豪雨の教訓を今後活かすべく、ワーキンググループにおいて議論を行い、住民主体の取組強化による防災意識の高い社会の構築に向けて、今後実施すべき対策を取りまとめるとともに、内閣官房において、重要インフラの緊急点検を実施し、集中豪雨、気温上昇などの気象の急激な変化に対応した、防災・減災、国土強靱化のための緊急対策を、概ね7兆円程度を目途とする事業規模で、3年間で集中的に実施することとしました。

元荒川や荒川等の大きな河川を抱える、地元・鴻巣市においても、そのはん濫により、大規模水害の発生の危険性があります。私も、防災・国土強靱化を担当する副大臣として、引き続きこうした防災・減災に向けた取り組みを積極的に推進することにより、鴻巣市の皆様の安心安全な暮らしを守れるよう全力で取り組んで参りたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

チャレンジ通信 vol.45



埼玉県議会自由民主党議員団

なかやしき慎一

31年度予算(案)



埼玉県議会議員 中屋敷慎一 討議資料
〒365-0039 鴻巣市東3-11-18-103号
TEL 048-541-8110 FAX 048-541-0256

「弥生に思う」 日差しが日一日と暖かさを増してきました、春はもうそこまで来ていますね。良い季節を迎えようとしているこの時期は、今や国民病ともいえる「花粉症」対策の時期です。埼玉ではスギやヒノキの花粉飛散は、例年より少し多く、昨年よりは少ないとの予想がされています。対策の必要な皆さんは早めのご準備を。私は、花粉症はそれほどではありませんが、体調を整えつつ、四度目の大戦に向け日々邁進中です。頑張りま〜す！

鴻巣市箕田産業団地新年度予算について

2月定例県議会は20日に開会し、31年度予算(案)など47議案が上程されました。一般会計当初予算(案)は、1兆8884億6千万円で、30年度比1.2%の増額予算となっています。

中でも、鴻巣市に大きくかわる予算としては、かねてから県企業局で調査を続けてもらっていた、「鴻巣箕田地区産業団地整備事業」の予算が計上されています。スーパービバホーム北側の約17haを対象とする本事業は、平成31年度～33年度の事業期間で、総事業費は約52億円が予定されています。本市の企業立地ポテンシャルを確かなものにすべく、上尾道路Ⅱ期工事区間の早期完成に向けた要望活動などを、更に強化して参ります。その上で、雇用の創出につながる企業誘導に向けて、原口市長との連携を深め、県当局との連絡調整を密にとり、最善の結果が得られるように努めて参ります。



自民党県議団推進 虐待禁止条例を活用した対策について

千葉県野田市の小学4年生の女の子が、父親の虐待によって命を落とした痛ましい事件は記憶に新しいことでしょう。この事件においては、児童相談所や教育委員会の不適切な対応が重なり、事件を防げなかったことが明らかとなりましたが、失われた「命」は2度と戻りません。本当に残念なことです。本県においても、事後の児童虐待防止に向けた政府方針を受け、県と県警は今後の対応を精査検討していくとの事です。また、一昨年の平成29年7月には自民党県議団の提案により、埼玉県虐待禁止条例を制定。30年4月1日に施行し、10月には挿絵にある、「県虐待通報ダイヤル」を開設し、24時間365日対応で児童、高齢者、障害者虐待の通報を受付、適切な機関につないで行く新たな取り組みも進められていますが、もっともっと対策を強化して行かなければなりませんね。

